

会津若松市菜の花フェスティバル事業

自治体情報 福島県会津若松市
人口 / 125,820人 標準財政規模 / 29,432百万円

担当課 市民部 環境生活課
電話番号 直通 0242-39-1221
実施主体 会津若松市菜の花フェスティバル実行委員会
関連ホームページ <http://aizunanohana.hanagasumi.net/>

事業期間 平成22年度から
関係施策分類 ①

予算関連データ

総事業費：810千円

名称	所管	金額(千円)
地域づくり総合支援事業補助金	福島県	480
一般財源	-	330

施策のポイント

耕作放棄地を活用した約1.2haの菜の花畑を中心に、地元農家、市民、観光客、震災被災者等の多彩なふれあい・交流による地域の活性化、資源循環型社会の形成等を目的に、年間を通じたイベントを実施している。

施策の概要

1. 取組に至る背景・目的

平成20年度にバイオスタウン構想を策定し、この実現へ向けた検討組織において廃食油の利活用の検討を進めた結果、菜の花プロジェクト事業を推進することとなった。この事業PRと菜の花畑の拡大のために、通年イベントである菜の花フェスティバル事業を実施することとなった。

2. 取組の具体的内容

5月「菜の花鑑賞会」、7月「菜種収穫作業体験会」「選別作業体験会」、8月「搾油見学会」「じゃがいも収穫祭」、9月「種まき体験会・ウォーキング」、11月「間引き体験会・新そば会」、2月「料理教室」などを実施。

3. 施策の開始前に想定した効果、数値目標など

- ①農産物の地産地消（消費拡大）による経済効果
- ②観光客の入込みによる経済効果
- ③地元農家の経営意識の向上
- ④市民の自主的な環境保全活動の促進
- ⑤市民・事業者・各種団体・行政のネットワーク強化による地域づくり活動の促進

4. 現在までの実績・成果

通年イベントの実施による菜の花や菜種油等の利用、農作業の体験、搾油作業の見学、廃油ロウソクの作成等を通じ、安全・安心な農作物への関心や、環境意識の向上が図られた。

5. 導入・実施にあたり工夫した点や苦勞した点とその対処法・解決策など

イベントへの参加者を増やすため、事前PRの強化が課題となっていたが、市民等が求めているイベント内容を把握し工夫することで、参加者を増やすことができた。

6. 今後の課題と展開

実施主体である実行委員会も2年目となり参加者が固定化してきているので、新たなメンバーを募り、活性化させたい。